

福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

ナーサリーつづき

横浜市都筑区南山田 2-26-8

運営主体: 社会福祉法人 和泉福社会

● 実施概要	1 ページ
● 総合評価（評価結果についての講評）	2～4 ページ
● 評価領域ごとの特記事項	5～6 ページ
● 分類・項目別評価結果	7～18 ページ
● 利用者家族アンケート分析・集計結果	19～27 ページ
● 利用者本人調査分析	28～30 ページ
● 事業者コメント	31 ページ

公表日：2017 年 6 月 14 日

実施機関：特定非営利活動法人市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	ナーサリーつづき (保育所)		
報告書提出日	2017年5月10日	評価に要した期間	11ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

■評価方法

1、自己評価 実施期間 2016年5月13日～2016年11月14日	① 全職員一人ひとりが、自分の理解により記入していった。 ② 全職員を乳児各クラス、幼児3クラス、給食、看護、パート、非常勤に分かれて会議を持ち、一項目ごとに確認をし、最終的にリーダーと副主任、主任、園長で協議しまとめた。
2、利用者家族アンケート調査 実施期間 2016年10月11日～2016年10月23日	① 全園児の保護者（135世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡して配付した。 ② 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。
3、訪問実地調査 実施日: 第1日 2017年3月21日 第2日 2017年3月22日	[第1日] ① 午前：各クラスで保育観察。 ② 昼食：園児と一緒に食べながら、保育観察。 ③ 午後：書類調査。園長・主任に面接調査。 [第2日] ① 午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 ② 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 ③ 午後：各クラス担任保育士8名、看護師1名、栄養士1名、非常勤職員1名、主任に個別に面接調査。 その後、園長・主任に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。
4、利用者本人調査 実施日: 第1日 2017年3月21日 第2日 2017年3月22日	① 観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。 ② 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

「ナーサリーつづき」は横浜市営地下鉄グリーンライン北山田駅から緑道を歩いて10分ほどの位置にあります。15キロに渡る緑道は「都筑の美しい緑道と公園を巡る健康づくりコース」になっていて、ウォーキングを楽しむ人も多く、車は進入できない静かな自然に恵まれた地域です。園舎は2階建てで園庭とプール、駐車場を備えています。エントランスを入ると明るく広々とした吹き抜けのホールと幼児保育室、そして幅広の階段を上がると乳児保育室になります。

2001年（平成13年）7月に、0歳から5歳まで定員150名で開設された認可保育所です。開園時間は平日午前7時から午後8時、土曜日は午前7時から午後6時です（延長時間を含みます）。

運営法人は、社会福祉法人 和泉福祉会（以下運営法人）です。運営法人はナーサリーつづきの他に横浜に3園、東京都目黒区に2園の認可保育所を運営しています。

保育理念は和泉福祉会の理念「子どもがそれぞれ持っている個性を認め、柔軟に受け止め、尊重しながら保育者との安定した信頼関係を基に個々に応じた社会性の芽生え、育ちを援助し、多様化する現代社会の中でたくましく『生きる』為の基礎を育むこと」を、園の理念として掲げています。

保育の基本目標は理念に基づいて「しなやかに こころゆたかに すこやかに」とし「色々な活動を積極的に経験させ、異年齢の子どもたちの交流を図りながら、一人ひとりの成長、発達を踏まえて、心身共に調和の取れた子どもの育成に努める」としています。

◆ 高く評価できる点

1、子どもたちは、自分で考え、自ら作り出すことを楽しみながら園生活を送っています

室内にはいくつものコーナーが設定してあり、子どもたちは好きなコーナーを選んで、ブロックで街づくりをしたりネックレスやベルトを作ったり、絵本を見たり塗り絵などをして自由に過ごしています。ままごとやごっこ遊びなど、グループ遊びでは、「仲間に入れて」「いいよ」と自然に入っていきます。どのコーナーからも愉しげな子どもたちの声が聞こえてきます。

散歩では歩きながら自然に歌を歌い出します。公園に着くと足を踏ん張って崖をのぼり、慎重に崖を下り、広場でははじけるように走り、転んでもすぐに起き上がってまた走ります。虫の集団を見つけると大騒ぎで他の子どもたちに知らせに行きます。

室内での製作は、紙粘土を自由な発想で、思い思いの形を作り上げていきます。日頃から、広告用紙やトイレットペーパーの芯などの廃材を工夫して、おもちゃを作り上げたり、自由帳を好きに使い、絵を書くだけでなく、文字や計算なども遊びの一つになっています。

園がパンフレットに掲げている「あたたかいまなざしと行き届いたケア、子どもたちの心・体・脳の成長をサポート」の実践に取り組んでいる様子が伺われました。

今回の保護者アンケートでも、「あなたのお子さんが保育園生活をたのしんでいるか」について、100%の満足度が示されています。

2、園全体が風通し良い組織体になっており、職員間のコミュニケーションが良好です

全職員 48 名という大型園ですが、幼児主任、乳児主任、クラスリーダーを中心として保育士集団がまとまっています。2 人の主任は給食、看護、パート職員と保育士とのパイプ役ともなっています。保育士たちはリーダー、主任との連携で全体とつながり、給食、看護、パート職員も主任との連携で全体とつながり、情報共有が出来ています。この組織づくりの機能が有効に働き、風通しの良い職員集団となっています。

その上で園長は全体を見渡し、自分の存在を前面に出さずに全職員の意思を尊重することを大切にし、現場を支えている主任を初めとして職員一人一人が自分の力を発揮できるように見守っています。園全体に、マナーをわきまえながらも忌憚なく自分の意見を表明できる自由な雰囲気があります。職員は熱心に子どもたちのより豊かな姿を追求し、職員室でも休憩室でも子どもの話でにぎわいます。休憩室は日常的に他職種との連携の場ともなっています。

今回の職員ヒアリングでは、この職場は上からの圧力がなく、会議でも意見が活発で、職員同士が高めあい、共に育っていきける、という声が多く聞かれました。

3、人材育成が着実に行われ、園内でリーダー、主任、園長候補が育っています

人材育成の計画として、園長を中心として園内で考案・作成した職層別の「求められる職員像」があり、それを基にした職員チェックシートにより職員全員が自己評価をしています。「求められる職員像」は職層別（新任、中堅指導的職員、管理者）の「求められる職員像」を組織性、専門性の 2 項目に分けて作成しています。

個々の職員は「求められる職員像」や自身の職務実績を基にして「コミットメントシート」を作成します。「コミットメントシート」は年度目標と 3 期にわたる短期目標に向けての取り組み、研修・自己学習、そして自己評価を書き込むようになっています。年に 3 回の園長面接の際に、職員は期ごとの取り組みに関するプレゼンテーションを行い、園長のアドバイスを受けて振り返りをします。年度末には個々の職員に「意向調査」があり、その項目の一つ「仕事についての自己評価」で、現在の目標達成が何パーセントであるかを自己評価します。「コミットメントシート」にはまた、個々の職員のリーダー、主任、園長が、評価と次年度に向けてのコメントを書き込みます。それらを基にして、職員は新しい年度の目標を立て次期の取り組みに向かいます。これが、園での人材育成の柱となっています。

園ではまた新任保育士育成のためのシスター制度を実施していて、新任保育士に個別に先輩保育士がついて指導に当たります。先輩保育士がシスターとして 3 年に渡って後輩を指導するという役割を責任を持って担うことも、人材育成の一環となっています。

以上のような仕組みにより、園内ではリーダー候補、主任候補、園長候補が計画的に育っています。

◆ 独自に取り組んでいる点

1、0,1 歳児については小人数での保育が出来るように工夫しています

園は全クラスがそれぞれ定員 25 名となっています。しかし、0 歳児と 1 歳児はクラスを 3 つに分けて、0 歳児クラス、0,1 歳児クラス、1 歳児クラスとしています。保育室も 3 室を用意し、月齢と発達状況を合わせて判断してクラス分けをしています。更に、年度の終わりには子どもの状況を職員で合議し、例えば 0 歳児クラスの子どものについては、0 歳児クラスに残ってもう一年 0 歳児クラスで過ごす子ども、0,1 歳児クラスに行く子ども、1 歳児クラスに行く子どもと、きめ細かく子どもに対応しています。

また、各保育室はそれぞれ仕切りで 3 つのスペースを作り、臨機応変に 5~6 人の子どもで落ち着いて遊んだりすることも出来るように工夫しています。子どもたちはじっくり遊び、子ども同士の関わり

の中で、徐々に言葉も活発に出てきています。

2、乳児保育室では効率的な構造を活用し、保護者と保育士が落ち着いて話し合っています

0歳児から2歳児の乳児保育室はそれぞれトイレと前室の間の壁が両開きのロッカーになっており、トイレ側から保育士が入れた使用済みおむつや着替えを、前室から保護者が取り出せる、効率的な構造になっています。これを活用して保護者には、送り迎えの際の準備や片付けをしてから保育室に入ってもらい、保育士と情報交換をしたり、子どもの様子を見ながら話し合ったり、落ち着いてコミュニケーションを取る環境づくりに繋がっています。

◆更に期待される点

1、園としての具体的な中長期計画の作成が期待されます

園の10周年を記念して園長が作成した「夢のつづきプラン ナーサリーつづきの10年後に向けて」は、開園以来の歴史を<黎明期><基礎作り><発展期～現在>として振り返り、最後に<未来>として今後への期待と抱負が語られています。これを目指した職場の体制や職員のキャリアアップ等の具体的な中長期計画の作成が期待されます。

評価領域ごとの特記事項

※このページは、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って記載しています。

1、人権の尊重

- ・保育の基本目標を「しなやかに ころゆたかに すこやかに」とし、「色々な活動を積極的に経験させ、異年齢の子どもたちの交流を図りながら、一人ひとりの成長、発達を踏まえて、心身共に調和の取れた子どもの育成に努める」としています。利用者本人を尊重したものとなっています。
- ・園の人権に関する姿勢について、また守秘義務の意義や目的については「職員ハンドブック」に記載があり、入職時と年度毎に全職員で確認しています。パート職員には、パートミーティングで伝え、理解していることを確認しています。
- ・個人情報の取り扱いについて「利用者の人権を尊重する職員の方針チェックリスト」を作成し、性差、個人の尊重、プライバシー保護、体罰禁止など、全職員に周知し、「個人情報保護法に関連した誓約書」を提出しています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・年齢や発達に応じて、コーナー作りや子どもの目線にあわせて絵本やおもちゃの棚の高さを変えるなどの工夫をしています。年齢の低い子どもたちは、トイレットペーパーの芯に入る大きさのおもちゃは取り除いたり、子どもの動線や視角を考え、環境構成に配慮をしています。
- ・0,1歳児クラスは月齢や発達状況に合わせて、3クラスにしています。また、各保育室はそれぞれ仕切りなどで3つのスペースを作り、子どもたちの状況により小集団で遊べるように工夫しています。
- ・毎月、献立会議・離乳食会議を開き、保育士から喫食状況などの報告を聞き、子どもの好き嫌いを把握し、野菜は切り方で食感が変わるようにしたり、湯切りや油通しで苦みを軽減するなどの工夫をしています。また、盛り付けや調理方法をかえ、子どもたちの食欲を促進するように配慮しています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・児童票、入園時生活調査表、個人面談記録表に、子どもや家庭の個別の状況・要望を記録しています。
- ・入園後の子どもの成長発達については、児童票に身体的な発達記録を、「成長の記録」に乳児は1ヵ月ごと幼児は期ごとに子どもの成長発達を記録しています。
- ・保護者会は毎月定例会を行っており、保護者が自主的な活動をできるように2階一時保育室を活動場所として提供をしています。
- ・保護者から出された苦情・要望とその対応、経過は「ご意見・ご要望・苦情対応記録」に記載して蓄積し、解決に生かしています。

4、地域との交流・連携

- ・地域の夏祭りへの参加や近隣の高齢者施設への訪問など、地域住民との交流を図っています。交流時の会話の中から園に対する要望などをくみ取るように努めています。
- ・年に30回ほどの園庭開放では、延べ90人ほどの来園があります。年5回の交流保育では、色水遊びやボディペインティングなどを実施しており、各回2~5組の参加があります。
- ・保育所のパンフレット・広報誌を区子育て支援拠点へ配架しています。ホームページ等では、地域や関係機関に向けて、園の最新情報を随時提供するように努めています。

- ・ボランティアマニュアルがあり、ボランティア受け入れの際に、園の考え方、意義、流れ、子どもとの関わり方や年齢に伴う危険などを伝えています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・横浜市ホームページやミニコミ誌など外部の情報提供媒体に対して保育所の情報を提供しています。ホームページや掲示板に利用希望者に見学ができることを案内しています。
- ・保育所としての自己評価は保育所の理念や保育の方針等にそって行われ、ホームページで公表しています。
- ・園にとって重要な情報は園長・主任ミーティング等で主要な職員間で共有し、重点改善課題として設定します。設定された重点改善課題は職員会議で職員に周知し、園全体の取り組みとしています。

6、職員の資質向上の促進

- ・個々の職員は「求められる職員像」や自身の職務実績を基にして「コミットメントシート」を作成します。年に3回の園長面接の際に、職員は期ごとの取り組みに関するプレゼンテーションを行い、園長のアドバイスを受けて振り返ります。年度末には個々の職員のリーダー、主任、園長が「コミットメントシート」に評価と次年度に向けてのコメントを書き込みます。それを基にして、新しい年度の目標が立てられます。これが、園での人材育成の柱となっています。
- ・非常勤職員にも園内研修だけでなく園外研修も勧め、資質向上を図っています。衛生管理や感染症、救急救命の園内研修には必ず参加しています。
- ・実習生受け入れマニュアルがあり、園の方針、意義、考え方、学んでほしいこと、流れ等を決めています。
- ・実習生本人の希望に基づき、過去の実習記録を参考に、実習目的に応じた効果的な実習が行われるためにプログラム等を工夫しています。

分類別評価結果

- ※ 横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。
- ※  ←「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。
3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある
- ※ 評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 I 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p>  <p>(1)保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2)保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・母体である和泉福祉会の理念「子どもがそれぞれ持っている個性を認め、柔軟に受け止め、尊重しながら保育者との安定した信頼関係を基に個々に応じた社会性の芽生え、育ちを援助し、多様化する現代社会の中でたくましく『生きる』為の基礎を育むこと」を、園の理念として掲げています。 ・理念に基づいて保育の基本目標を「しなやかに こころゆたかに すこやかに」とし、「色々な活動を積極的に経験させ、異年齢の子どもたちの交流を図りながら、一人ひとりの成長、発達を踏まえて、心身共に調和の取れた子どもの育成に努める」としています。 ・保育の基本方針は、毎年度の新年度準備会議の時に全職員で声を出して読み合わせています。職員が指導計画を作成する際には、保育の基本方針を基にして作成し、それをリーダーと主任が確認しています。 ・保育課程は発達段階に応じて発達の特徴、保育士の姿勢、養護・教育・保育のポイントを記し、子どもの最善の利益を第一義にした内容になっています。 ・保育課程に基づいて、クラスごとの年間・月間指導計画・週案を作成しています。 ・理解できる子どもには、週案の内容などを言葉だけでなく視覚に訴えてホワイトボードなども活用して子どもが納得できるように説明し、子どもの意見を聞いています。言葉に出来ない子どもは表情や体で表現することが多いので、それらを配慮して子どもの意思を汲み取り、指導計画に反映させています。

I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- (1)入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。
- (2)新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。
- (3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

- ・入園までの生育歴や家庭での状況は「生活調査表」に記入してもらい、更に入園前面接で必要事項を聞き、把握します。面接時に把握された記録は、まず新入園児会議で主任・担任・看護師・栄養士で情報交換をしてまとめ、職員会議等で全職員に報告します。
- ・0,1歳児の新入園児には主担当保育士を決めています。乳児クラスでは送り迎えの際の情報交換に加え、詳しい連絡帳を使用して日々家庭と園との連絡を密にしています。
- ・月間指導計画は毎月のクラスミーティングで主任も交えて子どもの状態を話し合って振り返り、翌月の計画を作成しています。指導計画の評価、見直しの際には、保護者との日々の話し合いや連絡帳による意見なども取り入れています。

I-3 快適な施設環境の確保



- (1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。
- (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- ・毎日の清掃を掃除マニュアルにしたがって行っています。保育室には「おそうじチェック表」があり、各所の掃除が出来ているか日々チェックしています。また、屋外の掃除は職員だけでなく、保護者会の後に保護者も協力して園舎の周りも掃除しています。
- ・0,1歳児クラスのトイレに沐浴設備があります。沐浴設備には二つの槽があり、一つは便・砂・汚れ用、他の一つは沐浴・汗・水遊び前後用と区別しています。
- ・乳児用・幼児用トイレと園庭の足洗い場に温水シャワーを備えています。
- ・0,1歳児クラスは月齢や発達状況に合わせて、3クラスにしています。また、各保育室はそれぞれ仕切りなどで3つのスペースを作り、子どもたちの状況により小集団で遊べるように工夫しています。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- (1)子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。
- (2)子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。

- ・0,1歳児クラスは3クラスにしています。0~2歳児の4クラスはそれぞれ個別指導計画の書式を備え、指導計画を作成しています。
- ・幼児については、障がい児用の個別指導計画の書式を備え、また必要に応じて個別の指導計画を作成しています。
- ・児童票、入園時生活調査表、個人面談記録表に、子どもや家庭の個別の状況・要望を記録しています。
- ・入園後の子どもの成長発達については、「成長の記録」に乳児は1ヵ月ごと幼児は期ごとに子どもの成長発達を記録しています。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- (1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。
- (2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。
- (3)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。
- (4)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。
- (5)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

- ・配慮を要する子どもについては、必要に応じて個別にクラスミーティングやカリキュラム会議で話し合い、記録しています。
- ・園舎はバリアフリーの設計になっていて、多目的トイレも備えています。2階に行くために通常は階段を使用していますが、必要に応じてエレベーターも使用できます。
- ・障がい児一人一人の特性を考慮して、個別の月間指導計画、週案を作成しています。
- ・虐待が明白になった場合に、区役所、児童相談所に通告・相談する体制があります。
- ・家庭支援の必要な保護者に対しては、ある日虐待に変わるリスクを考えながら、担任、主任が近づきすぎず適当な距離をおきつつ、さりげなく声をかけるなどの配慮をし見守っています。
- ・アレルギー疾患のある子どもについては、担任・看護師・栄養士・主任とで保護者に面談し、医師の指示書にしたがって除去食を提供しています。
- ・アレルギー食の誤食事故防止のために、他の子どもと異なる提供皿、専用トレイ、名札を使用しています。また提供前に給食室で声かけ、保育室で保育士2名でのメニューの読み上げをし、確認後に提供しています。また食事の場は、0,1歳児は除去専用ラック、2歳児以上は除去テーブルを設けています。
- ・文化の異なる子どもについては、入園前の面談時に生活習慣の違いなどを聞き取り、尊重しています。現在のところ、特に配慮の必要な家庭はありませんが、必要な場合は個別に対応します。

I-6 苦情解決体制



- (1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。
- (2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

- ・「園生活の手引き」に第三者委員に直接苦情の申し出をすることが出来る旨を記載し、入園説明会の時にも知らせています。
- ・保護者向けの提案箱を玄関に置いています。要望・苦情は懇談会、保護者会でも聞いています。また保護者アンケートも実施しています。
- ・要望や苦情があった時には決められた手順に従って速やかに対応し、その内容や解決策を会議で職員に伝え、周知しています。
- ・保護者から出された苦情・要望とその対応、経過は「ご意見・ご要望・苦情対応記録」に記載して蓄積し、解決に生かされています。
- ・今回の保護者アンケートは回収率が約39%と低いため、一部の保護者の意見とも言えますが、保護者への対応に関して様々な意見・要望が出されています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="156 264 507 300">Ⅱ－１ 保育内容〔遊び〕</p> <div data-bbox="204 344 491 427"></div> <p data-bbox="156 465 577 584">(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p data-bbox="156 607 577 680">(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p data-bbox="156 703 577 822">(3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p data-bbox="156 844 577 1016">(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p data-bbox="156 1039 577 1113">(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p data-bbox="156 1135 577 1209">(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none">・おもちゃや教材は、子どもが自分で取り出しやすいように棚や引き出しを工夫して、種類毎に整理されています。子どもたちは、自由に取り出して遊び、片付けも遊びの一つとなっている様子が伺われました。・年齢や発達に応じて、コーナー作りや子どもの目線にあわせて絵本やおもちゃの棚の高さを変えるなどの工夫をしています。年齢の低い子どもたちは、トイレットペーパーの芯に入る大きさのおもちゃは取り除いたり、子どもの動線や視角を考え、環境構成に配慮をしています。・子どもの要望に応じて、絵の具や新聞広告などの素材を提供し、遊びを広げています。紙粘土の工作では、子どもが包み紙に書いてある作り方から考えた思いつきを取り上げ、トイレットペーパーの芯を使って花瓶を作ったり、図鑑をみて虫や恐竜を作ったりするなど自由な発想を受け止め、それを集団活動に取り入れています。・保育士は、クラスミーティングや日々の雑談の中かで、お互いにアドバイスするなど、子どもの成長に応じた支援の仕方を話し合い、自由遊びの中で一人一人が興味・関心を持って遊べるように援助しています。・近隣に遊歩道や公園が多く、園外活動では、動植物を観察するなど、自然に触れる機会を十分に設けています。公園では、思い切り走り回ったり、どろどろになるまで遊んでいます。また、園のそばを通る緑道は多くの市民が利用し、散歩中の子どもたちに声をかけてくれる機会が多く、子どもたちもそれに応え挨拶や会話を交わしています。・子どもたちは、散歩の途中に自然に歌をうたったり、幼児クラスでは個人持ちの道具箱があり、自由遊び時にクレヨンやクーピー等の出し入れを自由に行いながら、絵を描いて楽しんでいます。また、粘土やのり等、遊びや活動に応じて自由に使えるよう配慮しています。・子ども同士でけんかが起きた場合には、保育士は、できるだけ子ども同士で解決するように、危険のないよう見守っています。必要に応じて、それぞれの意見や気持ちを聞き、段階を踏んで友だちと関わる時のルールを伝えるなど、自分で相手の思いを考えたり、気がつくように援助しています。・散歩や屋外活動などを行う際には、サンガード付きの帽子を着用し、夏には園庭のプールと砂場の上にサンシェードを設置するなど、紫外線対策を行っています。また、アレルギーについては『保

育所における食物アレルギー対応マニュアル』に則って対応しています。

II - 1 保育内容[生活]



- (7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。
- (8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。
- (9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。
- (10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。
- (11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。
- (12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

- ・ 4,5歳児は、食育ボードを使って、毎日の給食の食材がどのような栄養があるかを確認しています。3歳児クラスでも、栄養士が、保育に参加してペープサートで栄養の説明をする機会を設けています。5歳児は、給食の当番があり、子どもたちが食事及びその過程（調理・配膳・片づけ）に関心を持つよう工夫しています。また、栽培した野菜を食べる機会や、栄養士の指導の下でクッキングの体験を取り入れています。
- ・ 4,5歳児は、広くて明るいランチルームで、子ども同志で会話をしながら愉しく食事をしています。また、全クラスで穏やかなBGMを流し、食事をゆっくりと楽しめる雰囲気づくりに配慮しています。行事のあるときには、テーブルクロスや手作り箸置きやランチョンマットを使用するなど、日常とは少し違う華やかな演出なども行っています。
- ・ 毎月、献立会議・離乳食会議を開き、保育士から喫食状況などの報告をする他、栄養士が子どもたちの食事の様子をみて、好き嫌い等を把握しています。子どもの喫食の状況に応じて、野菜は切り方で食感が変わるようにしたり、湯切りや油通しで苦みを軽減したりするなど、子どもたちが食べやすくなるように工夫をしています。
- ・ 職員室前に設置してある展示食の前にレシピを置き、自由に持ち帰ることができるようにするなど、保護者に保育所で提供する食事に対する関心をもてるように配慮しています。特に、乳児は給食参観と副菜の試食を行い、栄養・味付け・食べ方（噛み方）等、保育所で配慮していることを知らせています。
- ・ 入眠前は絵本や紙芝居を読むなど、気持ちが落ち着くように配慮しています。午睡の時間は静かにBGMを流し、ほどよい暗さに保ち、安心して心地よい眠りにつけるよう配慮しています。また、乳児は年齢に応じたブレスチェックを行い、記録をつけ、乳幼児突然死症候群に対する対策を行っています。
- ・ トイレトレーニングは保護者と話し合いながら、排尿間隔が長くなり、トイレへ誘った時オムツが濡れていないことが増えてきたら、布パンツを使用するなど、本人の意志も考慮しながら、一人一人の発達状況に応じて個別に対応しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



- (1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。
- (2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。
- (3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- ・子どもの健康管理に関するマニュアルに基づき一人一人の健康状態を把握し、各クラスの保健ファイルに、「病歴一覧表」を作成し保管してあり、職員が情報を共有しています。また、マニュアルには、全職員が目を通して確認するために、正職員と非常勤・パートそれぞれの全員のチェック欄が設けてあります。
- ・園児健診、身体計測、歯科検診、視聴覚検査、尿検査など、「こんなにおおきくなりました」というノートに一人一人記録し、入園から卒業までの成長の記録と、毎日の健康管理の為に活用しています。必要に応じて保護者に渡し、確認したら押印して園で保管することになっています。
- ・感染症等への対応に関するマニュアルがあり、年度末に見直しています。登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応について、「感染症について」保存版を保護者に配布し、感染症の集団発生や流行の防止を図っています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- (4)衛生管理が適切に行われているか。

- ・衛生管理に関するマニュアルがあり、職員参加により年度末に見直しを行い全職員に周知しています。また、必要に応じてマニュアルに変更が生じた場合には、都度口頭で伝えています。
- ・マニュアルに基づき清掃等が行われ、特に乳児クラスでのおもちゃの消毒を毎日2回行うなど、清潔・適切な状態を保つように努めています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- (5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。
- (6)事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。
- (7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

- ・安全管理マニュアルがあり、東日本大震災後、事故や災害に対する対応を見直し、全職員に周知するとともに、保護者にも説明し、意見を求めています。
- ・教育・保育施設等の事故防止の専門家である外部講師のアドバイスを受け、溺水に繋がるプール活動について、指導を行わず監視する職員を配置するなど取り組みを確立しています。
- ・大きな事故や怪我等が発生する可能性がある運動会のプログラムなど、様々な観点から協議し、見直し・中止など安全確保に努め、保護者にも丁寧に説明をしています。しかし、今回の保護者アンケートで以前実施していたプログラムを要望するご意見も有り、引き続き、リスク回避だけでなく、子どもの発達や園生活の充実など、活動が持つ価値について、保護者としっかりとコミュニケーションを取り方針を共有することが期待されます。
- ・コーナー設置のための棚やホールの会議用テーブルなど、規模の大きな地震に備えて固定についてさらなる検討が望まれます。
- ・ヒヤリハット・インシデントレポートをまとめ、事故の検証及び再発防止について会議にて話し合っています。子どものケガについては、軽傷であっても必ず保護者に状況を報告し、記録しています。また、外部講師を招きリスクマネジメント研修を行い、

	<p>改善策が実行されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不審者等の侵入防止策として、出入り口を1カ所にしてカードキーや防犯カメラの導入など、対応策を整備しています。業者と契約し非常通報システムを導入し、不審者等に対する緊急通報体制が確立されています。
<p>Ⅱ－3 人権の尊重</p>  <p>(1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。</p> <p>(2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。</p> <p>(3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。</p> <p>(4)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園の人権に関する姿勢について、職員ハンドブックで新年度準備会議の際に全職員で読み合わせています。子どもに対して、呼び捨てや、威圧的な言葉遣い、無視が行われないよう、気になる保育実践を見た時は保育者同士が声を掛け合うようにしています。 ・各保育室は、コーナー作りをおこなっており、一人になりたいときや、遊びに集中している時には、友だちや保育士の視線を意識せず過ごせるように配慮しています。必要に応じて、看護室や一時保育室など、入り口に「面談中」の札をかけて、プライバシーを守れるように配慮しています。 ・個人情報の取り扱いについて「利用者の人権を尊重する職員の方針チェックリスト」を作成し、性差、個人の尊重、プライバシー保護、体罰禁止など具体的な項目で職員の意識を確認できる仕組みがあります。全職員に周知し、「個人情報保護法に関連した誓約書」を提出しています。 ・遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をせず、男の子だから、女の子だから、という言い回しをしないように職員間で確認し合っています。カリキュラム会議等で、他クラスの気になった場面について話し合える場があり、自分が気付かずに口にしていた性差等を反省する仕組みがあります。
<p>Ⅱ－4 保護者との交流・連携</p>  <p>(1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。</p> <p>(2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。</p> <p>(3)保護者の相談に応じているか。</p> <p>(4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。</p> <p>(5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対しては、入園時に園長から保育の基本方針を説明しています。また、懇談会などで担任から、子どもたちの様子を伝えると共に、プログラムの狙いなど、園の方針が分かるように説明しています。 ・子どもの送迎時に、必ず連絡帳を手渡しして、その日の子どもの様子を伝えるよう配慮しています。連絡帳に子どもの様子や園の活動を記載し、保護者からの家庭での状況も把握しています。 ・保護者からの相談があった場合には、内容などを人に聞かれないように、看護室や一時保育室で相談を受けるなど、プライバシーへの配慮をしています。相談を受けた職員が適切に対応できるよう、リーダーや主任だけでなく、必要に応じて園長からも助言が受けられる体制になっています。 ・園だより、クラスだよりを毎月発行し、ホームページに掲載し、行事に向けての取り組みや行事の意味合い等を園生活に関する情報の提供に努めています。

<p>(6)保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮し、保護者への情報提供はホームページに掲載したり、玄関ホールに掲示するなどの工夫をしています。 ・年度初めに年間行事予定であらかじめ日時を知らせています。特に、保護者参加の行事は「園生活の手引き」に★印を付けて明確化しています。また、忙しい保護者の為に4、5月の行事予定については、年度内に園だよりで知らせ、保育参加のための休暇等の予定を立てやすくしています。 ・保護者の活動に要請があれば職員も参加をしています。年に2回実施している地域清掃では、職員も参加し、地域・保護者との交流を図っています。特に新卒保育士は保護者会との交流に積極的に参加しています。
---------------------------------------	--

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <p>(1)地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2)地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援事業として、園庭開放や一時保育を行っており、参加する保護者からの子育て相談に応じています。 ・近隣の保育園と保育園交流を行う他、小学校や高齢者施設との交流を通して、地域の子育て支援ニーズを把握しています。保育を公開することで、職員にとって勉強の機会となっています。 ・年に30回ほどの園庭開放では、のべ90人ほどの来園があり、年5回の交流保育では、色水遊びやボディペインティングなどを実施しており、各回2-5組の参加があります。
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p>  <p>(1)地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。</p> <p>(2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に向けて、子育て支援センターに園のパンフレットやチラシを置き、育児相談や育児講座の情報を提供しています。 ・育児相談については、神奈川県の子育て相談事業として相談日を設けるほか、区役所等から紹介された場合には随時対応しています。 ・必要な関係機関・地域の団体等については、一覧表を作り、関係機関との連携は園長と主任が担当し日常的な連携ができており、情報は全職員が共有しています。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  <p>(1)保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。 (2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りや高齢者を招くお楽しみ会など、保育所の行事に地域住民を招待しています。また、年長児が地域の高齢者福祉施設との交流を行うなど、計画的に地域との交流を図っています。 ・小中高等学校との交流行事を行うほか、高校の福祉体験実習や中学の福祉体験授業を受け入れるなど、学校教育との連携を積極的に図っています。 ・図書館や遺跡公園、北山田地区センターなど地域の施設等を散歩や遠足で活用しています。散歩のときや、園庭遊びの時など、地域の人達に挨拶をするなど積極的に交流を図っています。 ・区役所の調整で年長児交流会「なかよし大作戦」を年４回実施し、他園の子どもたちと積み木あそびやドッジボールなどで交流を図っています。 ・ウサギを観察しに隣接する小学校を訪問したり、高齢者施設で歌や手遊びなどを披露するなど、地域施設との交流を図っています。特に隣接する小学校へは、更に連携を深めるための働きかけを行っています。
<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p>  <p>(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。 (2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所のパンフレット・広報誌を区子育て支援拠点へ配架しています。ホームページ等では、地域や関係機関に向けて、園の最新情報を随時提供するように努めています。 ・保育所の基本方針や利用条件・サービス内容等をパンフレットに記載し、併せて利用希望者に見学ができることを案内しており、問い合わせに対しては、「見学マニュアル」に基づいて、園長又は主任が、常時丁寧に対応しています。
<p>Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ</p>  <p>(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。 (2)実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアマニュアルがあり、ボランティア受け入れの際に、園の考え方、意義、流れ、子どもとの関わり方や年齢に伴う危険などを伝える仕組みがあります。 ・ボランティア受け入れにあたり、園長又は主任がボランティアマニュアルに基づき、あらかじめ職員や利用者にも基本的考え方・方針が理解されるよう説明しています。受け入れ時には、ボランティアの情報と活動内容を記録しています。 ・実習生受け入れマニュアルがあり、園の方針、意義、考え方など、学んでほしいことと流れ等を決めています。 ・実習生の受け入れにあたり、オリエンテーションを行い、受け入れクラスの担任から、あらかじめ職員や利用者にも基本的な考え方・方針が理解されるよう説明しています。実習目的に応じた効果的な実習が行われるためにプログラム等を工夫しています。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-1 職員の人材育成</p>  <p>(1)保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。 (2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。 (3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成の計画として、園長を中心として園内で考案・作成した職層別の「求められる職員像」があり、それを基にした職員チェックシートにより保育士全員が自己評価をしています。「求められる職員像」は職層別（新任、中堅指導的職員、管理者）の「求められる職員像」を組織性、専門性の2項目に分けて作成しています。 ・個々の職員は「求められる職員像」や自身の職務実績を基にして「コミットメントシート」を作成します。「コミットメントシート」は年度目標と3期にわたっての短期目標に向けての取り組み、研修・自己学習そして自己評価を書き込むようになっています。年に3回の園長面接の際に、職員は期ごとの取り組みに関するプレゼンテーションを行い、園長のアドバイスを受けて振り返り、自己評価をして次期の取り組みに向かいます。年度末には個々の職員のリーダー、主任、園長が「コミットメントシート」に評価と次年度に向けてのコメントを書き込みます。それを基にして、新しい年度の目標が立てられます。これが、園での人材育成の柱となっています。 ・園ではシスター制度を実施していて、新任保育士には個別に先輩保育士がついて指導に当たっています。シスターとして3年に渡って後輩を指導するという役割を責任持って担うことも、人材育成の一環となっています。 ・研修計画は、研修係と主任が職員の研修ニーズを配慮しながら作成しています。 ・内部研修は職員の希望を考慮して年間計画を確定し、職員・非常勤職員とも受講できます。外部講師を招いた園内研修を年に2回計画し主研修として位置づけています。園外研修は園から申し込んで受講するものと、個人で申し込んで受講するものがあります。 ・非常勤職員には園内研修だけでなく園外研修も勧め、資質向上を図っています。衛生管理や感染症、救急救命の園内研修には非常勤職員も必ず参加します。また、月に1回「パートミーティング」を実施し、主任と非常勤職員、パート職員が集まり、カリキュラムなど必要事項の伝達や情報交換をしています。
<p>V-2 職員の技術の向上</p>  <p>(1)職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は研修の成果や指導計画の振り返りや職層別の「求められる職員像」に照らして自己評価を行い、「コミットメントシート」を作成し、年に3回園長面接をうける積み重ねで、計画的に技術の向上に取り組んでいます。 ・保育士等が自己評価する書式は、指導計画、階層別の求められる職員像チェックリスト、コミットメントシート、意向調査等があり、自己評価と園長面接を通して、自己の実践の改善に努める仕組みになっ

<p>(2)保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。</p> <p>(3)保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p>	<p>ています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の自己評価は、各職員から提出された「求められる職員像」等の自己評価の統計・総括、及び職員との面接、研修の成果等を総合して園長・主任・副主任で検討し、園長が作成します。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p>  <p>(1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職層別（新任、中堅指導的職員、管理者）の「求められる職員像」を組織性、専門性の2項目に分けて作成し、職員個々の目標・役割を明示しています。 ・会議や日常の話し合い等で業務改善の提案を募り、意見・提案が出されると、それにしがって話し合いを行って実践に生かし、職員のやりがいにつながるようになっています。 ・日常的なコミュニケーションや、年に3回実施される園長面接、年に1回実施される「意向調査」等により、職員の満足度・要望を把握しています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p>  <p>(1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が守るべき倫理等は職員ハンドブックに具体的にわかりやすく明文化し、年度初めには職員会議で読み合わせをして再確認しています。 ・各家庭へ配布していた園だよりや献立表等については、園内の掲示とホームページで見てもらおうようにし、ペーパーレスを図りました。また、節電、節水を促し、施設内の照明をLED化しました。 ・環境への考え方、取り組みを「エコロジーの取り組みについて」として明文化し、玄関に掲示しています。子どもたちには、節水やペーパータオルの使い方等、ごみ減量化や省エネについて指導しています。

VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- (1) 保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。
- (2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。
- (3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。

- ・ 理念・基本方針等は「園生活の手引き」に明文化し、玄関その他各所に掲示しています。年度初めの職員会議で「園生活の手引き」「職員ハンドブック」を読み合わせ、再確認し、周知しています。
- ・ 今年度、安全性の問題から運動会の演目の変更があり、また 2011 年度には年長クラスのお泊り保育の変更がありました。これらは現場の職員の声も重視して職員間で回を重ねて話し合い、子どもの最善の利益という観点で決定しました。変更にあたり、保護者懇談会で変更理由や目的を丁寧に説明し意見交換を行いました。
- ・ 主任は日々全クラスを回り子どもや職員の状況を把握しています。職員ミーティングやクラスミーティング、リーダーミーティングに参加し、職員の能力や経験に合わせて助言や指導を行っています。
- ・ 主任は職員の不調等を把握して配慮し、特に職員が仕事上の問題で落胆している時には、それを機に逆にそれを踏み台にして飛躍できるように支えています。

VI-3 効率的な運営



- (1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。
- (2) 保育所運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

- ・ 保育所運営に関して最新の情報は、主に法人理事長や法人ミーティング、園長会等から収集し、分析しています。
- ・ 園にとって重要な情報は職員会議で職員に周知し、重点な課題は園全体の取り組みとしています。
- ・ 中長期計画は、法人としては姉妹園の創設や既存園の定員変更等に関するものがあります。園としては、10 周年を記念して園長が作成した「夢のつづきプラン ナーサリーつづきの 10 年後に向けて」に、開園以来の歴史を<黎明期><基礎作り><発展期～現在>として振り返った後に、<未来>として今後への期待と抱負が語られています。これを目指した職場の体制や職員のキャリアアップ等の具体的な中長期計画の作成が更に期待されます。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2016年10月11日～10月23日
- 2、実施方法 ①保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
②各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 39.3%（135枚配付、53枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス…8人、1歳児クラス…7人、2歳児クラス…13人、3歳児クラス…11人、
4歳児クラス…6人、5歳児クラス…7人 無回答…1人

※ 同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

※ 文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

アンケートの回収率は、135枚配布のうち53枚回収で、約39%です。そのため今回のアンケート結果は保護者大半の満足度・不満度とは言い難い、ということを前提として分析します。

◆まとめ

- 保育園の総合満足度は、96.2%です。
- 満足度が100%或いは100%近かった項目は
 - ・ 入園前の「園での1日の過ごし方についての説明」
 - ・ 遊びについて「クラスの活動や遊び」「遊びを通じて友達や保育者との関わりが十分もてている」
 - ・ 生活について「給食の献立内容」「子どもが給食を楽しんでいる」
 - ・ 「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」「子どもの体調への気配り」
 - ・ 職員の対応について「子どもが保育園生活を楽しんでいる」です。
- 不満度が20%以上だった項目は、園と保護者との関係で、
 - ・ 「年間の保育や行事に保護者の要望が活かされているか」
 - ・ 「開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応について」です。
- 子どもに対する取り組みには満足しているが、保護者への対応には不満がある、という特徴が見られます。
- 自由記述でも、子どもへの対応について満足や感謝の言葉が多く述べられている反面、保護者の要望が行事などに活かされない、お迎えの時間などを柔軟に対応してほしい、という旨等の要望が述べられています。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

実施期間：2016年10月11日～10月23日

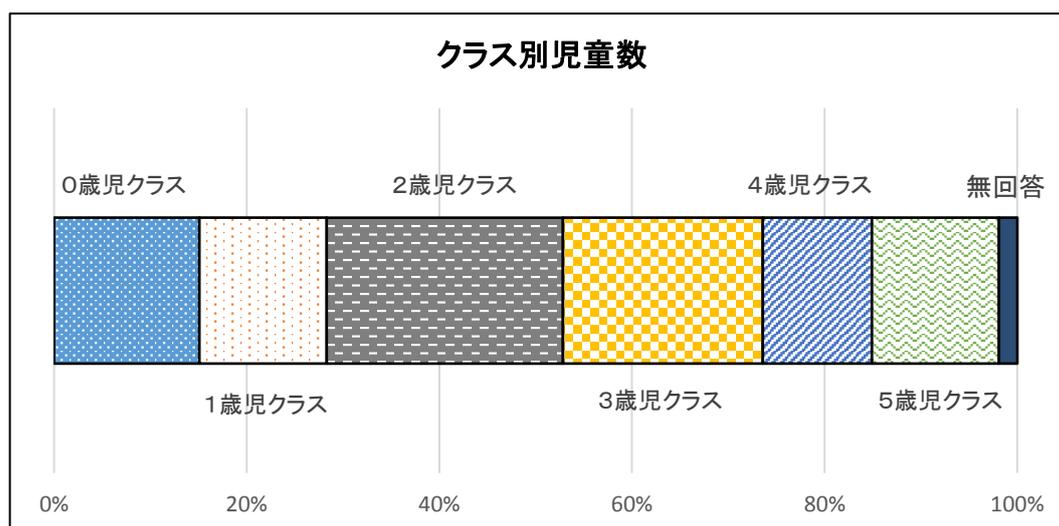
回収率：39.3%（回収53枚／配付135枚）

【属性】

クラス別児童数 (人)

合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
53	8	7	13	11	6	7	1

※同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入

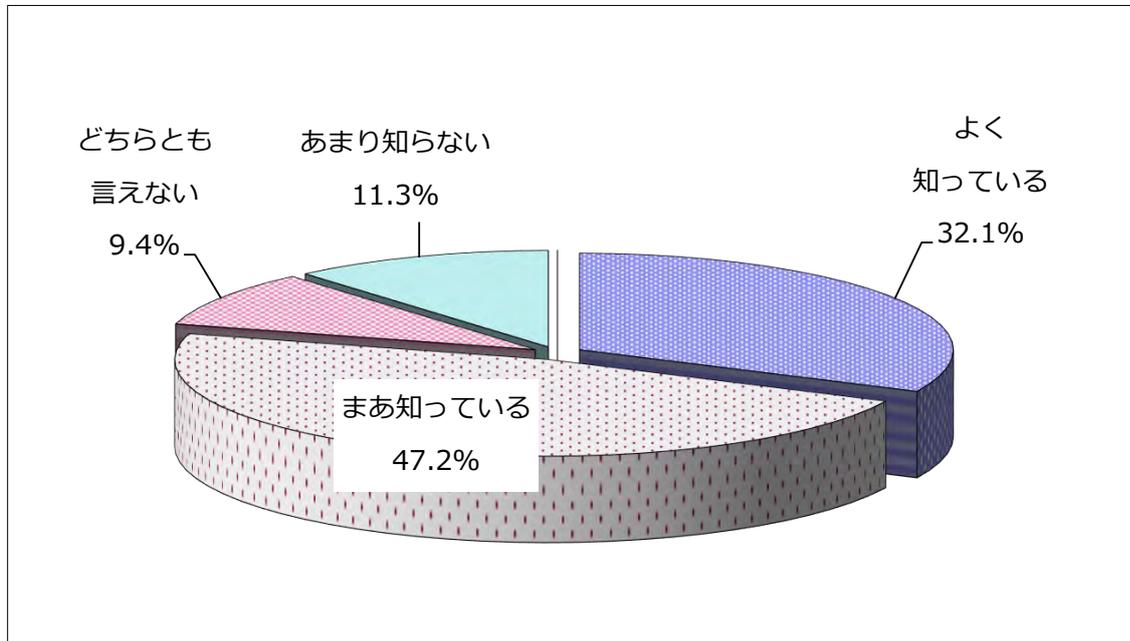


■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 保育園の保育目標・保育方針を知っていますか。

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	32.1%	47.2%	9.4%	11.3%	0.0%	0.0%	100.0%

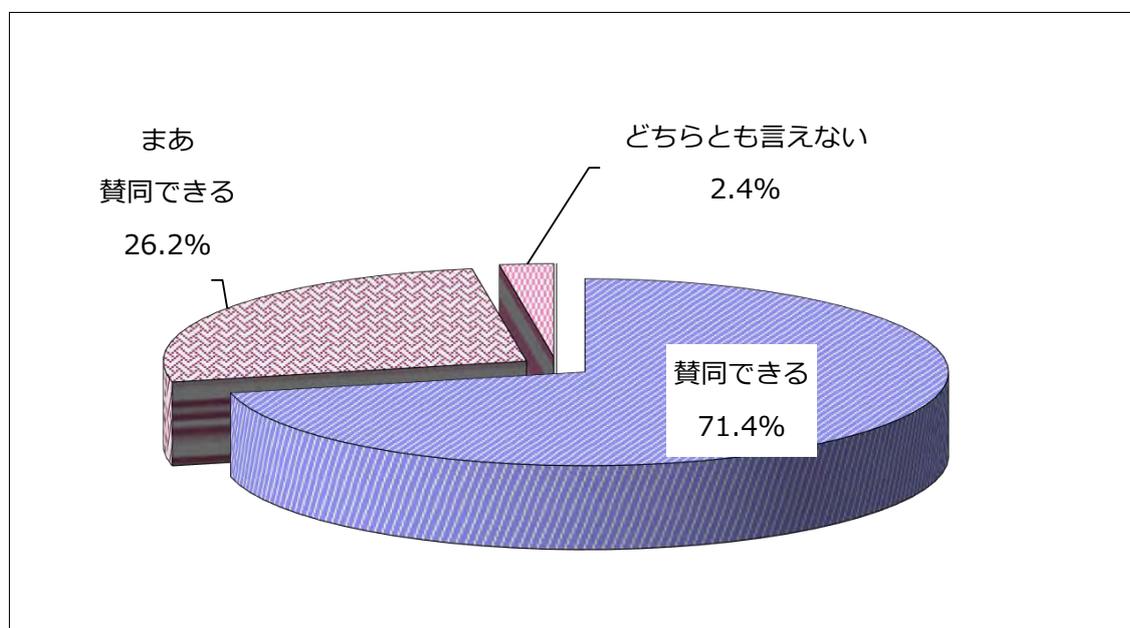
(%は小数点第1位まで表示し、合計の小数点第1位を四捨五入すると100%になります。)



「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1 その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

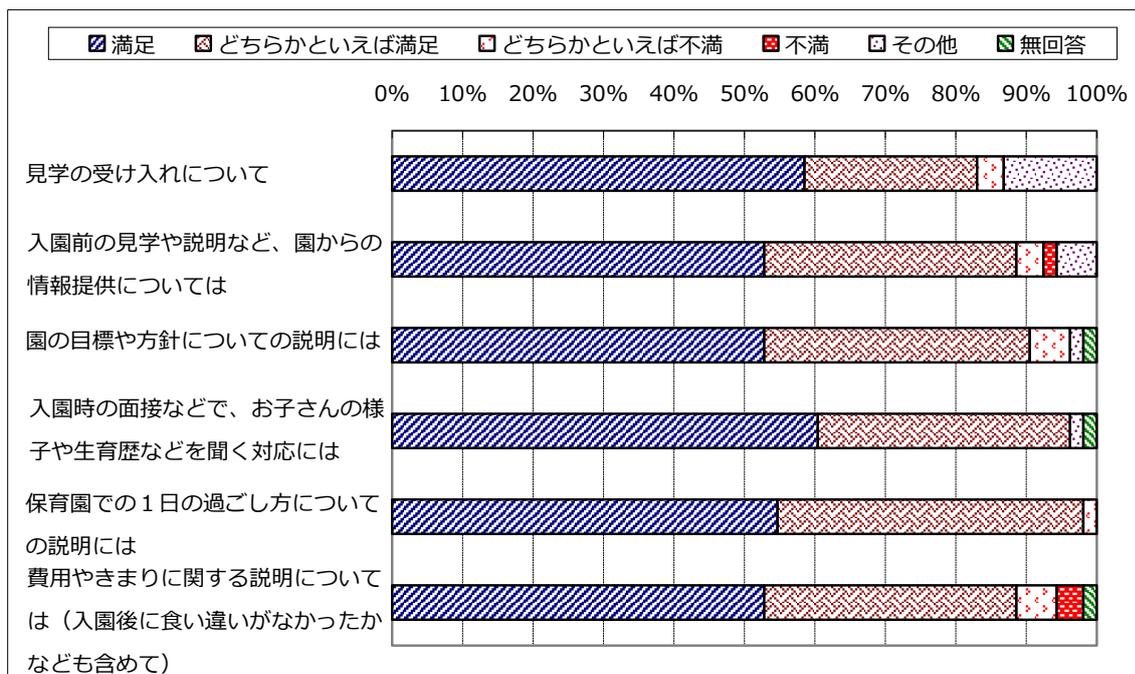
付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	71.4%	26.2%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



■ 保育園のサービス内容について

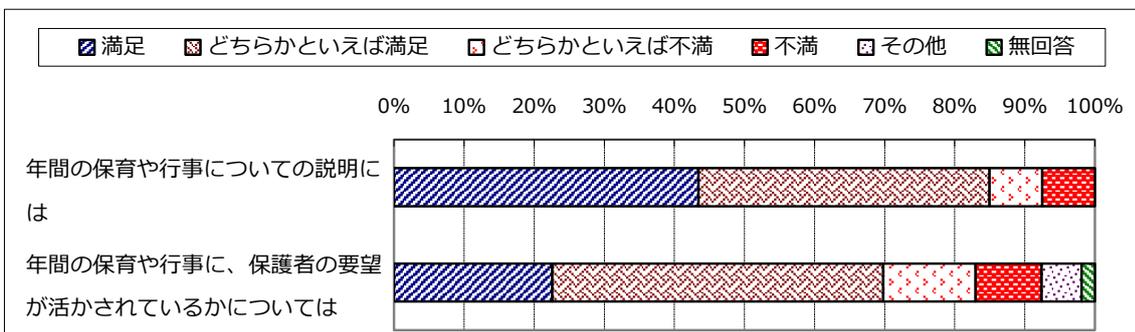
問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	58.5%	24.5%	3.8%	0.0%	13.2%	0.0%	100.0%
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	52.8%	35.8%	3.8%	1.9%	5.7%	0.0%	100.0%
園の目標や方針についての説明には	52.8%	37.7%	5.7%	0.0%	1.9%	1.9%	100.0%
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	60.4%	35.8%	0.0%	0.0%	1.9%	1.9%	100.0%
保育園での1日の過ごし方についての説明には	54.7%	43.4%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	52.8%	35.8%	5.7%	3.8%	0.0%	1.9%	100.0%



問3 保育園に関する年間の計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

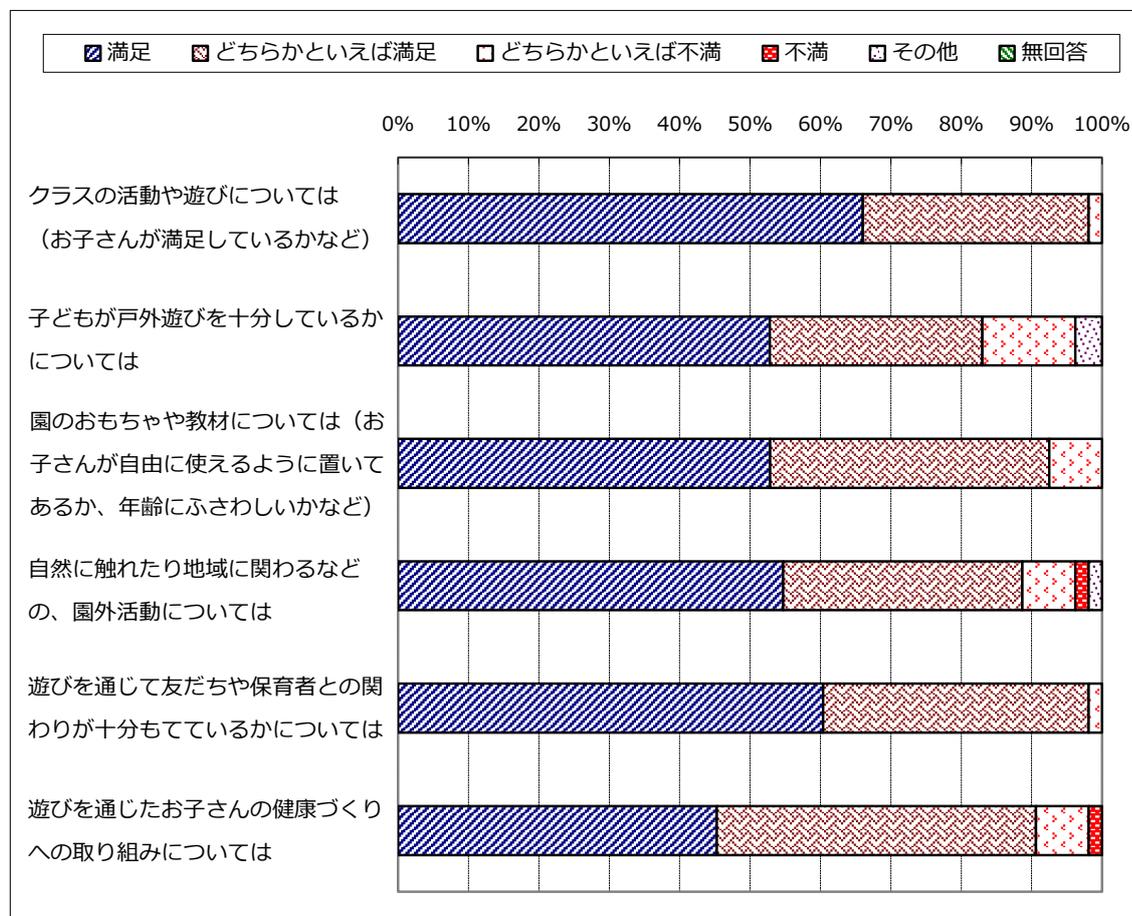
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	43.4%	41.5%	7.5%	7.5%	0.0%	0.0%	100.0%
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	22.6%	47.2%	13.2%	9.4%	5.7%	1.9%	100.0%



問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

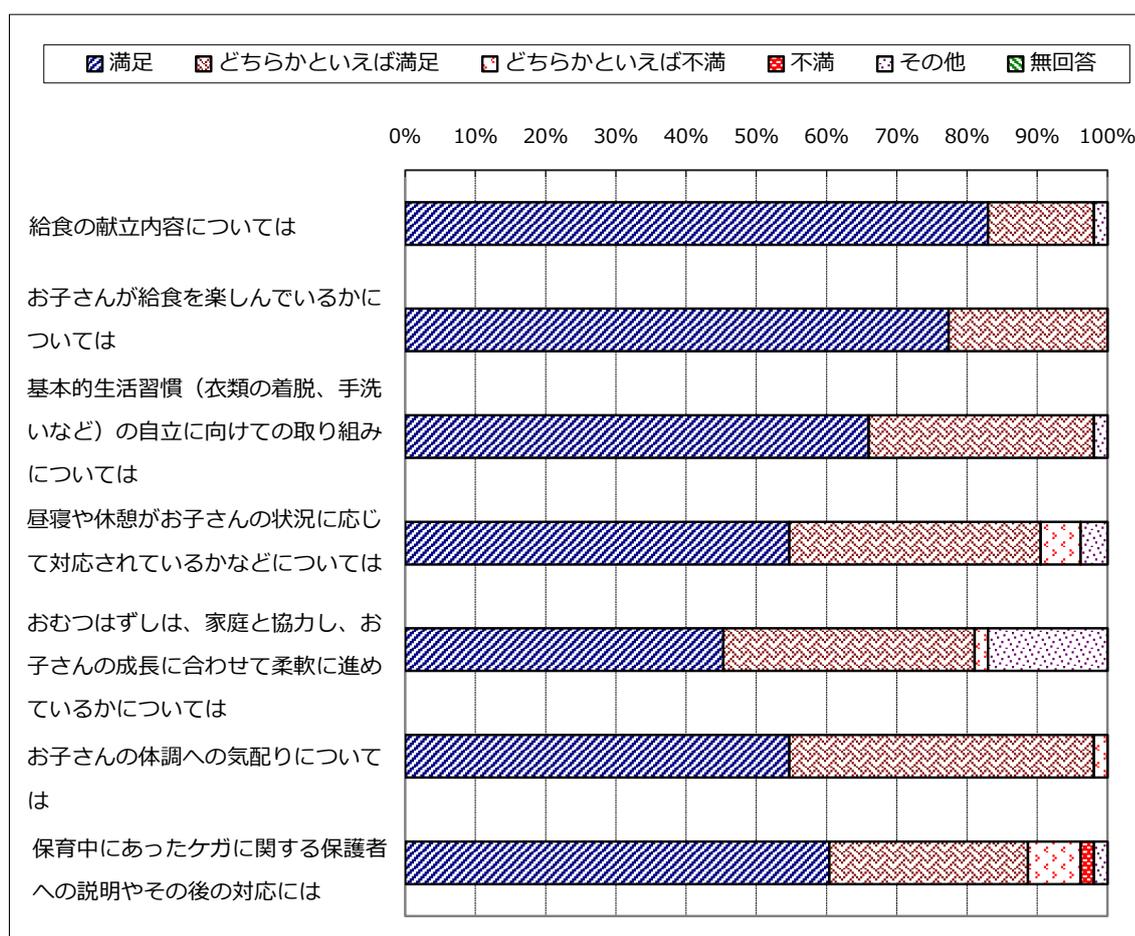
●「遊び」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	66.0%	32.1%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	52.8%	30.2%	13.2%	0.0%	3.8%	0.0%	100.0%
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	52.8%	39.6%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	54.7%	34.0%	7.5%	1.9%	1.9%	0.0%	100.0%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	60.4%	37.7%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	45.3%	45.3%	7.5%	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%



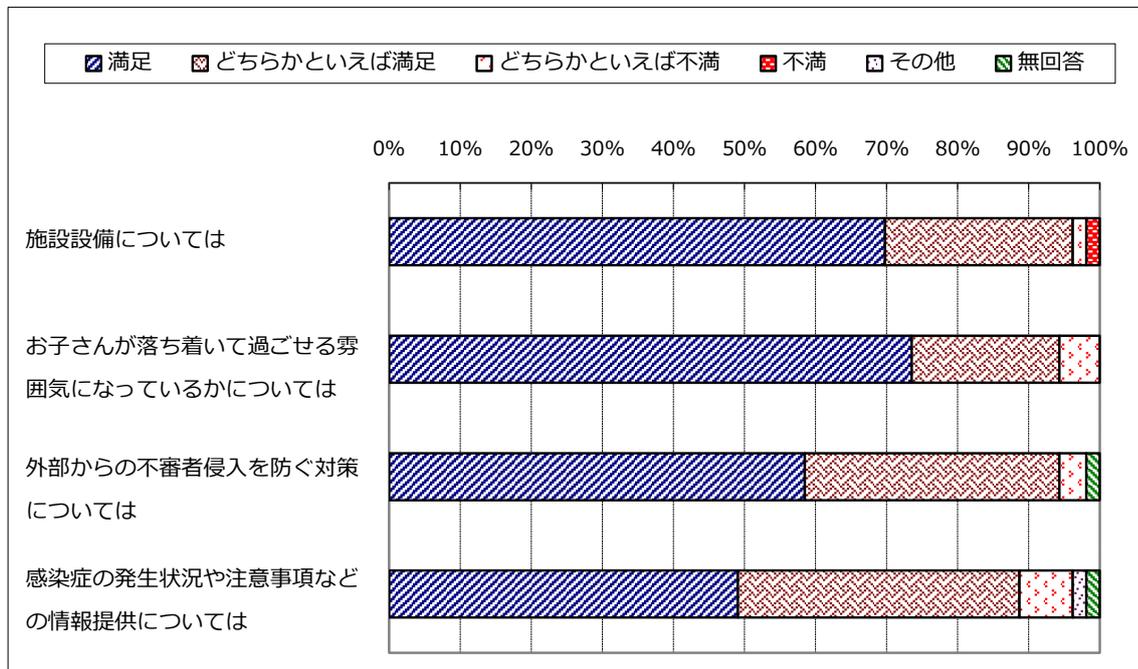
●「生活」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	83.0%	15.1%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	100.0%
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	77.4%	22.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	66.0%	32.1%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	100.0%
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	54.7%	35.8%	5.7%	0.0%	3.8%	0.0%	100.0%
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	45.3%	35.8%	1.9%	0.0%	17.0%	0.0%	100.0%
お子さんの体調への気配りについては	54.7%	43.4%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	60.4%	28.3%	7.5%	1.9%	1.9%	0.0%	100.0%



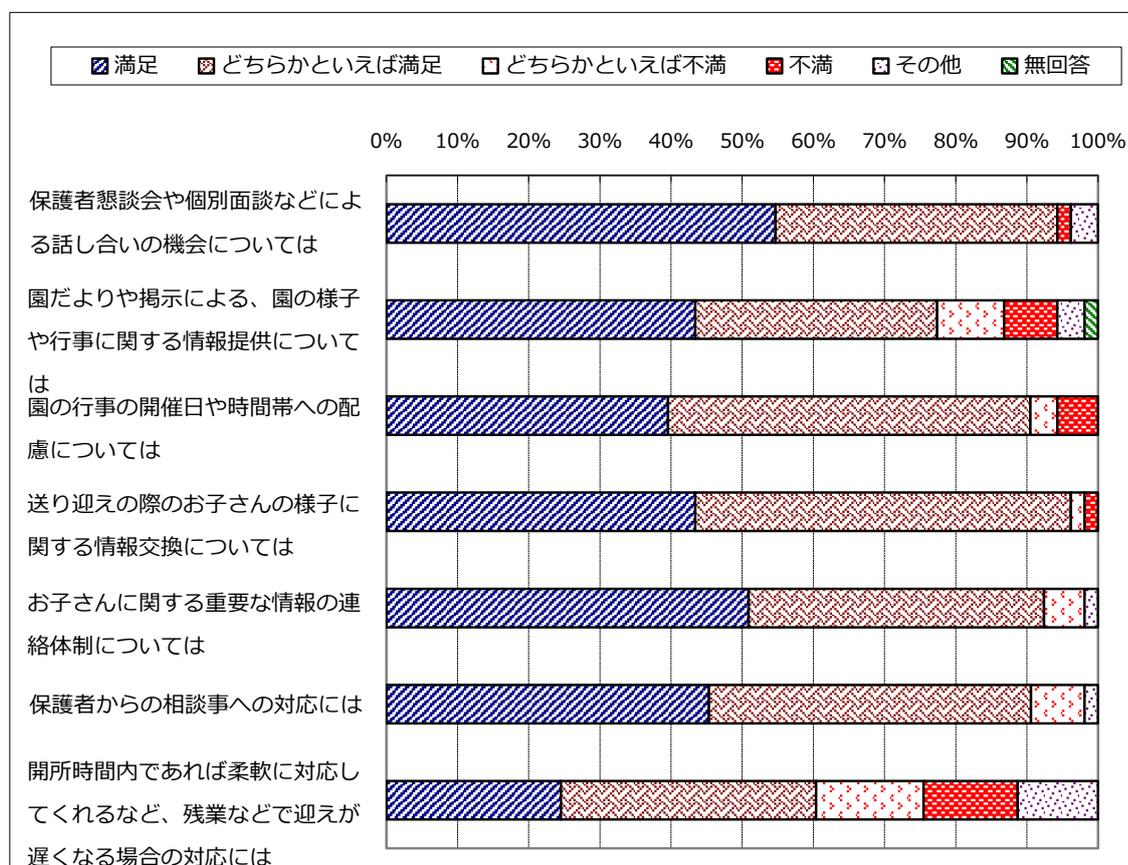
問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	69.8%	26.4%	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	73.6%	20.8%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	58.5%	35.8%	3.8%	0.0%	0.0%	1.9%	100.0%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	49.1%	39.6%	7.5%	0.0%	1.9%	1.9%	100.0%



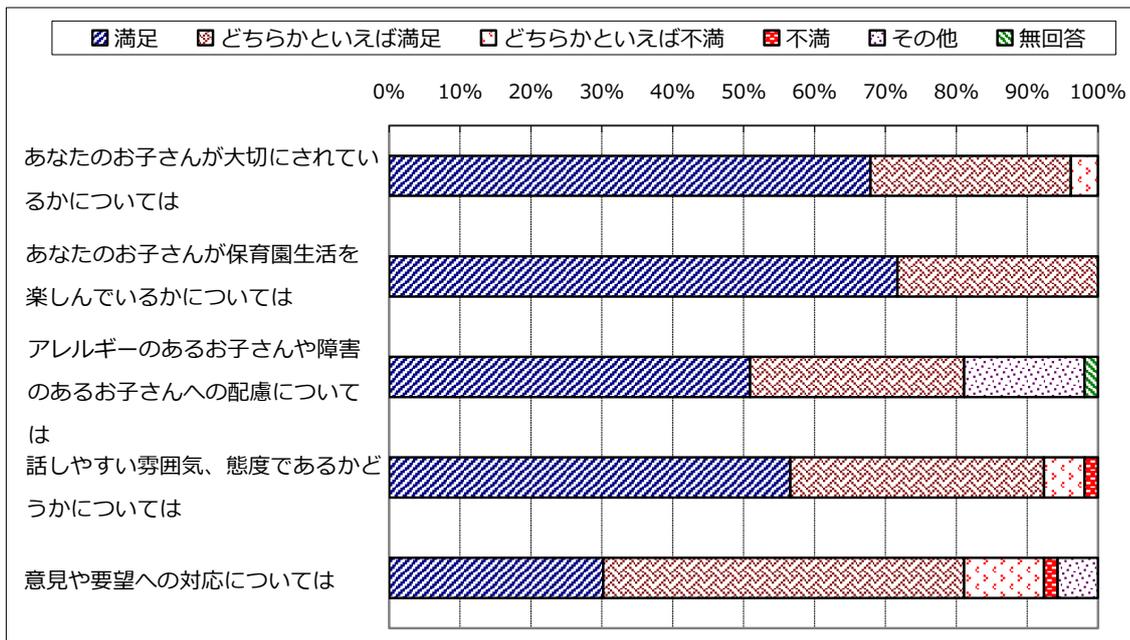
問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	54.7%	39.6%	0.0%	1.9%	3.8%	0.0%	100.0%
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	43.4%	34.0%	9.4%	7.5%	3.8%	1.9%	100.0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	39.6%	50.9%	3.8%	5.7%	0.0%	0.0%	100.0%
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	43.4%	52.8%	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	50.9%	41.5%	5.7%	0.0%	1.9%	0.0%	100.0%
保護者からの相談事への対応には	45.3%	45.3%	7.5%	0.0%	1.9%	0.0%	100.0%
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	24.5%	35.8%	15.1%	13.2%	11.3%	0.0%	100.0%



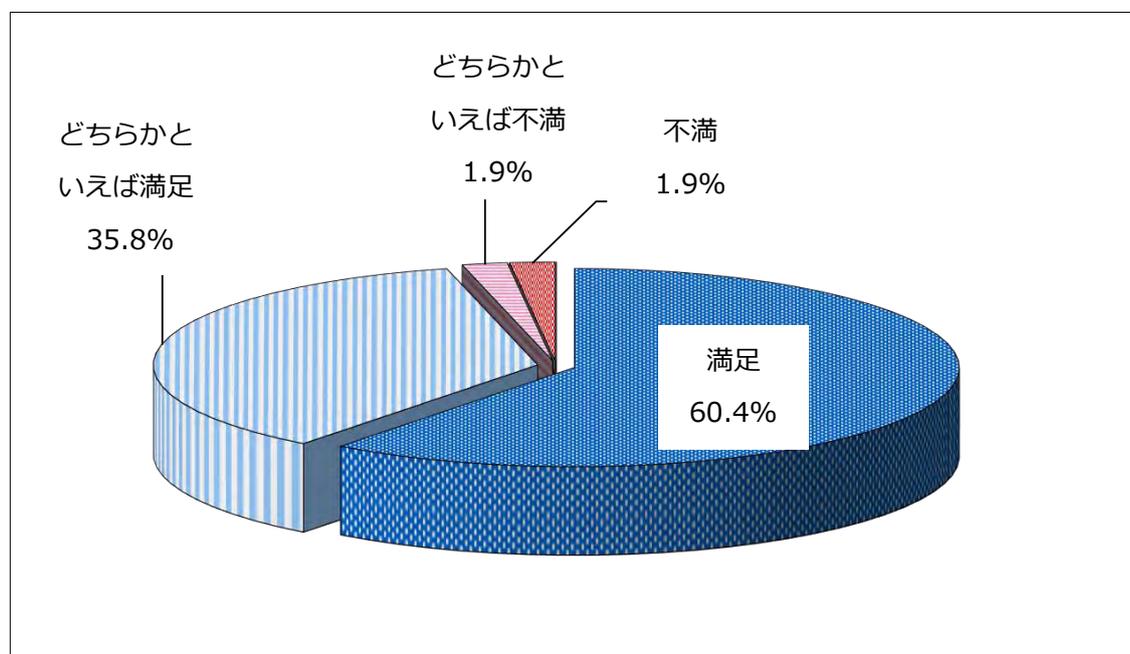
問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのおさんが大切にされているかについては	67.9%	28.3%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
あなたのおさんが保育園生活を楽しんでいるかについては	71.7%	28.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	50.9%	30.2%	0.0%	0.0%	17.0%	1.9%	100.0%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	56.6%	35.8%	5.7%	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%
意見や要望への対応については	30.2%	50.9%	11.3%	1.9%	5.7%	0.0%	100.0%



問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	60.4%	35.8%	1.9%	1.9%	0.0%	100.0%



利用者（園児）本人調査 分析

◆ 観察調査 ①3月21日（火）9：00～17：00 ②3月22日（水）9：00～17：00

※ 観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

◆ 0歳児クラス

子どもたちは登園すると、保育士の周りに集まっている子どもたちに混じってブロックを動かしたり絵本を見たりしています。親を追う子どもも、保育士に抱っこやおんぶされて落ち着くと遊びに加わります。

食事は、スプーンを使って自分で食べる子どもが多いですが、保育士は、無理に食べさせようとはせず、子どもの状況に応じて、カップに手を添えたり、スプーンを口に入れたりして、支援しています。

子どもたちはリトミックのような音楽に対しては自発的に体を動かし、保育士が見せる絵本の絵の動きを真似しています。

保育士を中心として、子どもたちは安心しておだやかに生活しているように見受けられました。

◆ 0.1歳児クラス

朝の会では、手遊び歌が始まると、子どもたちは、保育士の方に皆視線を向け、一緒に歌い始めます。

朝の会が終わると、保育士は子どもたちをトイレに連れて行き、「ズボンを自分でぬいで、オムツをぬいで、座りましょう」「出るかな？」「オムツ濡れてないね」と声がけしながら、順にトイレに促します。

散歩では、道端にいた鳩を見て、「ポッポ、ポッポ」と子どもが言うと、保育士が鳩ポッポの歌を歌ったり、散歩中の犬とすれ違うと、「ワンワン、ワンワン」と皆で指をさしたり、愉しそうに歩いています。

給食では、クラシックのゆったりしたBGMが流され、子どもたちは、「いただきます」と挨拶をしてスプーンで上手にすくって食べています。保育士が「ゆっくり食べてね」「モグモグね」と声をかけると、子どもたちが「うん。おいしー」と応えています。

◆ 1歳児クラス

朝の自由遊びの時間、キッチンのコーナーでは、棚の一角に扉を付けて冷蔵庫や電子レンジにみたくて、ままごとをしています。またカーペットの上ではレゴブロックで車や家を作って楽しんでいます。

片付けの時間になると、自分の使っていたおもちゃをそれぞれの絵や写真がついている場所に慣れた様子で戻していきます。

トイレでは、子どもたちは、自分でパンツ式のおむつを脱いで、便座に座ります。終わると「でたよー」と伝え、保育士が褒めると、満足そうに自分で水を流し、手を洗って紙タオルで手を拭いています。

園庭では、三輪車、砂場、滑り台など、思い思いの場所で自由に遊んでいます。年齢の高い子どもたちをまねして、同じ事をしたがり、まねされた年長児は慣れた様子で、面倒を見ている。

給食は、親の手作りエプロンを掛けて、スプーンを使って野菜もおいしそうに食べています。食べ終わるとエプロンと口ふきを丸めて、自分から洗濯物入れにしまって、ぶくぶくと口をすすいでいます。

◆ 2歳児クラス

朝の会が終わると、子どもたちは、自分でトイレに行き、ジャンパーを着て帽子をかぶって身支度します。トイレに行きたくない、という子どもがいましたが、保育士に「ちょっと出るかもよ。あとでしたくなっちゃうかも。だから一応行こうね。」と促され、トイレもスムーズに済ませることができました。

散歩では、二人一組で手をつないで、緑道を歩いて行きます。車の通りはないですが、自転車が多く、

自転車が来るときには、はじによって止まって待ちます。

公園では、シャボン玉、しっぽとり、かけっこ、電車ごっこなどの自由遊びをしました。

しっぽとりで、押されて尻もちをついて子どもが泣き出した時は、押ししてしまった子どもに、保育士が「押していいんだっけ？ダメだよな？」などと声をかけると、子どもはうなずき、再び仲良くしっぽとりのゲームを始める様子が見られました。

◆ 3歳児クラス

自由遊びでは、子どもたちは思い思いに自分の好きなコーナーで遊んでいます。

子ども同志のトラブルは度々起きますが、保育士は自分たちで解決するように見守りながら、「どうしたかったの？」「〇〇ちゃん、言い方をやさしく言ってごらん」など、必要に応じて相手の気持ちを考えるように声かけをしています。

栄養士が食育ボードを使って給食の内容とそれぞれの栄養の役割などを伝えています。その後クイズ形式で、この日の給食の献立を分類し、食べ物の絵カードを当てはめていくと、子どもたちから「むずかしいなあ」「赤ー！」「黄色ー！」と元気な声が響いています。

新聞紙遊びでは、ピアノの音楽に合わせて、歌いながら床に置かれた人数分の新聞紙の周りをグルグル回ります。ピアノの合図で、様々な動作に展開し、子どもたちは皆笑顔でとても楽しそうにしています。保育士の「お片付けです」という声に、子どもたちは夢中になって片付け、あっという間にきれいになりました。

◆ 4歳児クラス

保育士は、朝、保護者から連絡帳を手渡しで受けるときに、必ず休みの日の様子や朝の様子など言葉をお話し、その情報は、朝のうちに他の保育士とも共有され、保育士が子どもの足の裏を見たり、目の様子を観察したりして保護者からの言葉に対応しています。

子どもは登園してくると、自分でジャンパーを脱ぎ、自分の棚にしまい、カバンを自分のロッカーに入れ、歯ブラシも所定の場所に自分たちでおくという習慣がついています。

床に広くスペースを取り、マットの上では、ブロックやレゴで遊び、壁沿いの2つの机ではパズル、お絵かき、塗り絵、読書など、思い思いにきちんと座って自由遊びを楽しんでいます。窓側のおままごとエリアでは、数人がエプロンをしてごっこ遊びや、紙製のマイクで歌を歌ったり、それぞれ楽しんで遊んでいます。

子ども同士のもめ事が起きた時には、保育士がそのきっかけなどを聞き、相手の立場になって自分たちで解決できるように促しています。

◆ 5歳児クラス

保育士がピアノを弾き始めるのを合図に、朝の会が始まります。観察の日には、卒業式の直後だったため、園オリジナル曲の卒業ソング～えがおでありがとう～を大きな声で綺麗にそろって歌っていました。

自由遊びは5つの異なったコーナーがあり、レゴブロックやお絵かき、トランプや積み木など、グループであったり、一人で集中して自由に遊ぶ様子が見られました。子どもたちの遊びは、様々な素材を自由に使い、創造的な発想で遊びが展開されています。

園庭では、花びらを集めたり砂場遊びのごっこ遊びや、三輪車や滑り台、雲梯などの大型遊具での身体を使った遊びなど、園庭を所狭しと、走り回っています。年齢の小さな子どもたちと一緒にいると、小さい子を配慮したり、面倒をみている姿が見られました。

子ども同士の関係は、大変仲が良く、「入れて」「どうぞ」と声をかけて、遊びの仲間入りをしたり、「痛

い、ぶつかった」「ごめんね」「いいよ」などの声かけが自然に交わされています。

◆ **まとめ**

子どもたちは、園が掲げる「保育＝養護×教育」という思いのとおり、あたたかいまなざしに包まれ、伸びやかに知力・体力共に、自分の力を発揮している様子が伺われました。

子どもどうしの関係性も0歳児から少しずつ積み重ね、相手の気持ちを思いやり、いたわり合う子どもたちの姿が見られました。

事業者コメント

ナーサリーつづきは開園から16年を経過し、保育の飛躍的発展と共に卒園児の増加も相まって、地域の認知が向上したと自負しております。それに伴い園内外からの期待も更に高まっていると感じ襟を正して今回の受審に臨みました。

保護者の皆様のより具体的なニーズを汲み取るべく従来の園内アンケートも改良し、新たな評価項目に沿って職員が年齢、経験、職種、雇用形態の垣根を超え一丸となって話し合いを重ねました。日々の保育をひとつひとつ確認し振り返るという作業を進めるなかで、職員も改めてナーサリーつづきの保育の誇れる点、改善が必要な点が見えてきました。

このように新旧職員が共に学びを深める好機となったこと、さらに課題を再認識出来たことは有意義な営みでした。

在園保護者の皆様にはご多用中アンケートにご協力いただきありがとうございました。

アンケートの中には、励ましのメッセージやお褒めの言葉と共に厳しいご意見もありました。保育の構成・行事のねらいや大型園故の多岐に渡るルールは、保護者の皆様には分かりづらい部分が多いことに気付かされました。今後はそれらをより細やかにお伝えし、深く理解して頂けるよう努力していくことがお子さまの充実した毎日に繋がると考えております。

これを機に、保護者の皆様のご理解ご協力のもと気持ちを一つに子どもの成長を見守り、開園二十年に向けてあゆみを進めて参りたいと思います。

園長 湊崎 端穂子

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

●市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

●横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.lg.jp/kenkou/fukushi/>

●かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.knsyk.jp/search/3hyouka/index.html>



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0011 横浜市中区太田町4-49 N G S横濱馬車道802号室

TEL : 045-222-6501 FAX : 045-222-6502 <http://www.shimin-sector.jp>